



力作65点が並ぶ、県中学生郷土新聞コンクールの優秀作品展。7日、福井新聞社・風の森ギャラリー

## 県中学生郷土新聞コンクール

## 郷土の誇り紙面に凝縮

### 本社で入賞作65点展示



第24回県中学生郷土新聞コンクール(県中学校教育研究会社会科部会、福井新聞社主催)の優秀作品展が7日、福井新聞社・風の森ギャラリーで始まった。見出しやレイアウトなどに工夫を凝らし、郷土の誇りが詰まった力作65点

が並んでいる。11日まで。

NIE(教育に新聞を)の一環として行っている同コンクールは、古里に愛着を深めてもらうことが目的。今年は県内60校から5409点の応募があった。

最優秀の知事賞に輝いた木田恋菜さん(勝山南中部中2年)の「えごま新聞」は、勝山市野向町の特産エゴマがテーマ。▽血液をサラサラにする▽肌をツルツルにする▽など

と効用を解説した。エゴマを核にしたまちづくりの歩みや、実際に行っているPRの

手法も紹介している。

優秀賞の一つに選ばれた「オーガニック新聞」は、「有機と希望の福井へ」と大見出しにひねりを加えた。有機農業に取り組む生産者の思いを紹介し、オーガニック料理を提供する店のランチ巡りにも取り組んだ。

優秀作品展は15〜23日、美浜町生涯学習センターなびあでも開催。表彰式は10日午前10時から、「ふるさと賞」以上の30人を対象に福井新聞社・風の森ホールで行う。

(伊豆倉知)